

# インナーハウスプレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）トヨウダイガク	フリガナ）ケイエイガク	フリガナ）ナカノゼミナール
東洋大学	経営学部	中野ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ）ナカノゼミディーチーム	フリガナ）イムラアヤノ		
中野ゼミ D チーム	飯村綾乃	5	無

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）

中小企業の健康経営増進プロジェクト～プロジェクト H～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年、超過労や長時間労働が社会問題となっています。そこで働き方改革の一環として「健康経営」を取り入れている企業が増加しています。しかし、「健康経営」の知名度はまだあまり高くなく、実態としてどのような取り組みを行っているのか、またどのような効果が出ているのかについて、過去の先行研究で明らかにしているものはほとんどないのではないかと考えています。そこで私たちは「健康経営」を行うことで、期待されている目的は本当に達成されているのか、ということを明らかにするため、研究を進めてまいりました。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

今年度、経済産業省によって初の取り組みとなる「健康経営優良法人認定制度」が施行されました。この認定制度の目的は『優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」し、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる環境を整備する』ものとなっています。この認定制度では、大規模法人部門と中小企業法人部門に分かれており、中でも、中小企業法人部門においては資源が少ない中でどのような取り組みをしているのかということに焦点を当て注目しました。

### 3. 研究テーマの課題

健康経営優良法人制度は、項目に即した取り組みを行っていて申請をすれば、認定されます。つまり、健康経営を実施した後の効果については評価の対象となっていません。そのため、健康経営優良法人に認定されている企業さえも、従業員自身が「健康経営」について理解し、健康について意識して取り組みを行っていないことが考えられます。実際にインタビューへ行った企業では、『「健康経営」を行っても従業員の健康への意識は変わっていない』『なぜ「健康経営」を行わなければならないのかと従業員が考えている』といったような従業員の健康への関心が、健康経営の取り組みを導入しただけでは変化しないことが分かりました。そのため、従業員が健康に対して意欲的に考えることができていないことが課題として挙げられます。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の問題を解決するため、私たちは健康経営を行っている中小企業に、従業員が健康に対して意欲的になるようなプロジェクトを課題解決策として提案いたします。

「プロジェクトH ～健康者たち～」

定期的に健康について考え、自分の体を改善・維持しよう！

- (1) 健康診断の結果を参考に一年後の健康診断の目標（前年よりよくなるような目標）を決める。
- (2) その目標を達成するために毎月末に具体的に実施した取り組みをグループ内で共有する。社員が取り組みを投稿でき、投票できるようなプリやサイトを利用する。
- (3) 月ごとにグループで面白い取り組みや、参考になりそうな取り組みを行っている人に投票する。1票につき1ポイントが反映され、一年後合計ポイントが多かった人はHPや社内誌などに掲載する。

※グループとは・・・産業医が同じような症状を持った人や同じ体型の人をグループ化する。

- ・企業側…問題解決につながる。従業員が定期的に自身の健康に考えることによって、企業は健康経営を実施しやすくなる。

- ・従業員側…健康になる。定期的に自身の健康について考えることで、健康な人も予防につながる。

自分と共通点がある人と共有し合うことによって、お互いを刺激しあったり、有益になる情報を得たりすることができる。

HPや社内誌などに掲載されることによって自分の取り組みが社内で評価されると共に、社内全体で取り組みを共有することができる。

このようなメリットがあることから、本プロジェクトを行うことによって、企業の抱える課題の解決につながると考えられます。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

健康経営優良法人制度の中小企業法人部門へ選出された企業へインターを行いました。

【森平舞台機構株式会社】日時：2017年7月19日 11:00-12:00 インタビュー相手：代表取締役 森様

経営管理部 芦川様

人事開発担当 加々見様

【東京クリアランス工業株式会社】日時：2017年7月20日 10:00-11:00 インタビュー相手：代表取締役 鈴木様

日時：2017年9月21日 10:00-10:45 インタビュー相手：小林様

【鹿島リース株式会社】日時：2017年9月21日 10:30-11:30 インタビュー相手：総務部長 伊勢様

総務部総務課 堀内様

＜主なインター項目＞

- ・「健康経営」に取り組んだきっかけは何ですか。
- ・いつから「健康経営」への取り組みを始めたのですか。
- ・「健康経営」について具体的にどのような取り組みを行っていますか。
- ・「健康経営」に取り組んだことでどのような効果を得られましたか。
- ・「健康経営」を取り組む前後で従業員の意識は変化したように感じられますか。

- ・「健康経営」を取り組むまでの課題は何ですか。
- ・もし「健康経営」を取り組むまでの課題がある場合、それを解決するために行っている対策はありますか。

森平舞台機構株式会社、東京クリアランス工業株式会社、鹿島リース株式会社の3社から『健康経営優良法人へ認定されたことで企業価値は向上した。しかし、社内からの声に変化はない』との回答を頂きました。

## 6. 結果や今後の取り組み

対象である健康経営優良法人中小企業部門に認定されている企業2社へ本プロジェクトを提案したところ、導入してみたいとのお声を頂きました。東京クリアランス株式会社様からは、「定期的に自身の健康状態を見直すことで、個人個人の健康に対する意欲が高まると思う。」「取り組みを共有する場を設けることで、似たもの同士の意見交換の場があれば互いに良い刺激になる。」とのお言葉を頂きました。また、鹿島リース株式会社様からは、「産業医が症状別のグループに分けるというアイデアはとても良い。人によって体の状態はばらばらなので、悩みを共有できたり、情報交換することができる。」「アプリやサイトを活用し、かつポイント制なら社員も気軽に楽しみながら取り組めると思う。」とのお言葉を頂くことができました。

## 7. 参考文献

- ◆ 経済産業省 (2015) 『「健康経営の啓発と中小企業の健康投資増進に向けた実態調査」調査概要及び中間報告』  
[http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/jisedai\\_healthcare/kenkou\\_toushi\\_wg/pdf/008\\_s01\\_00.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/jisedai_healthcare/kenkou_toushi_wg/pdf/008_s01_00.pdf) 2017年6月8日閲覧。
- ◆ 経済産業省 (2016)「健康経営優良法人認定基準」  
[http://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/downloadfiles/ninteikijun.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/ninteikijun.pdf) 2017年6月8日閲覧。
- ◆ 経済産業省(2017)『健康経営優良法人認定制度』  
[http://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/kenkoukeiei\\_yuryouhouzin.html](http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html) 2017年8月25日閲覧。
- ◆ 健康経営研究会 (2017) 「健康経営とは」 <http://kenkoukeiei.jp/whats> 2017年6月22日閲覧。
- ◆ 森平舞台機構株式会社 (2017) 「会社概要」 <http://www.morihei.com/company/> 2017年6月22日閲覧
- ◆ 日本経済新聞社 (2017) 「「健康経営」実践、都内中小は2割、東商調べ、「聞いたことない」4割」『日本経済新聞』2017年7月19日 2017年8月25日閲覧
- ◆ 安藤淳 (2017) 「100時間残業、精神むしばむ、5時間睡眠、うつ病リスク（医療健康）」『日本経済新聞』2017年8月21日 朝刊 15ページ 2017年8月25日閲覧
- ◆ 水野孝彦、川野紀子(2016)「昼寝推奨、退社後8時間出社禁止、禁煙強制… 生活改善に積極介入 進化する「健康経営」」『日経ビジネス』1844,038-042
- ◆ 菅原透、世瀬周一郎 (2017) 「違法残業、人手不足が温床、三菱電機を書類送検。」『日経産業新聞』2017年1月12日
- ◆ 東京商工会議所 (2013) 「健康経営のすすめ」  
<https://www.tokyo-cci.or.jp/file.jsp?id=25783> 2017年8月25日閲覧
- ◆ 中小企業庁 (2014) 「都道府県・大都市別企業数、常用雇用者数、従業員数」『中小企業白書』 2017年9月3日閲覧

### ＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内の発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください